

大谷學報

第三十九卷 第二號

昭和三十四年十一月十五日 發行

精神薄弱兒の人格的適應に 關する研究……………大西憲明……………(一)	親鸞における末法觀の構造 ……………柏原祐泉……………(三〇)	新資料「天狗物語」と「平家物語」 との關係(前)……………瀧岡孝昭……………(三)	減盡定について……………長崎法潤……………(四)	大谷學會春季公開講演會要旨 …………………………(七)	新刊紹介…………………………(八)	寄贈交換誌名…………………………(六)	彙報…………………………(九)
--	------------------------------------	--	--------------------------	--------------------------------	-------------------	---------------------	-----------------

大谷大學
大谷學會

THE ANNUAL REPORT OF
RESEARCHES OF
OTANI UNIVERSITY
No. 11 (1958)

CONTENTS

Sanga and <i>Yan-lien-chên-chia</i>	<i>Shunjō Nogami</i>
Pure Land Doctrine of <i>T'ien-t'ai</i>	<i>Toshio Andō</i>
Leisure and Education.....	<i>Ryōnen Shibata</i>
On the Sound System of the <i>Hui-yuan-yin-i</i> ——Analysis of Materials——	<i>Shinjō Mizutani</i>
Development of <i>Nembutsu</i> Doctrine among the Disciples of <i>Hōnen</i>	<i>Gyōshin Hosokawa</i>

大谷大學研究年報 第十一集

桑可と楊璉真伽.....野上俊靜

——元代宗教史の一面——

天台智顗の淨土教.....安藤俊雄

——般舟三昧教學の完成と晩年の苦悶——

閑暇と教育.....柴田良稔

慧苑音義音韻攷.....水谷眞成

——資料の分析——

源空門下における念佛義の展開.....細川行信

——特に其の緣由について——

THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF
BUDDHOLOGY AND CULTURAL SCIENCE)

CONTENTS

Articles :—

Psychological Problem in Mental Deficiency*Kenmei Ōnishi*

Structure of the View of Degenerated Age

in the Shinran's System of Thought*Yūsen Kashiwabara*

Relation between the *Heike Monogatari* and the

Tengu Monogatari, a newly recovered manuscript*Kōshō Kataoka*

On Nirodhasamāpatti*Hōjun Nagasaki*

Otani Society Public Lectures (Epitome)

Book Review

Reports

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN.

大谷學會會則

第一條 本會を大谷學會と稱し、事務所を大谷大學内に置く

第二條 本會は佛教學・哲學・史學・文學並びにこれに關連する諸般の研究及びその發表を目的とする

第三條 本會の會員は大谷大學教職員・學生及び本會の趣旨に賛同する者とする

第四條 本會は左の事業を行う

- 一、「大谷學報」(年四回)及び「大谷大學研究年報」を發行する
- 二、毎年春秋二回公開講演會を開く
- 三、隨時研究會を開催する
- 四、その他圖書の出版等必要な事業を行う

第五條 本會に左の役員を置く

- 一、會長 一名
- 二、理事 四名
- 三、委員 十名

第六條 役員の任務を左の通り定める

一、會長は本會を代表し、會務を統

理する

二、理事は會長を補佐する

三、委員は編集・庶務・會計の事務を分掌する

第七條 役員の選出及任期を左の通り定める

一、會長は大谷大學々長がこれに當る

二、理事は大谷大學々務部長庶務部長並びに圖書館長がこれに當る

三、委員は大谷大學教授・助教授の互選により、その任期は二年とする

第八條 會員は「大谷學報」及び「大谷大學研究年報」の配布を受け、本會主催の會合に出席することが出来る

第九條 會員は會費として年額金七百圓を納めるものとする

第十條 本會則は大谷大學教授會の決議によらなければ變更する事が出来ない

附則 本會則は昭和二十七年四月一日から實施する

以上

大谷學會役員

會長 正親含英

理事 藤島達朗 中島正賢 横超慧日

委員 福原一來

阿部行人 安藤俊雄 稻葉秀賢

五來重 坂本弘 佐々木現順

武生讓 多屋頼俊 野上俊靜

舟橋一哉

庶務委員 安藤俊雄

補助委員 福原意玄

會計委員 吉田嘉一郎

囑託

昭和三十四年十一月十五日發行

編集兼 發行者 舟橋一哉

印刷者 西村七兵衛

京都市北區小山上總町

大谷大學内

發行所 大谷學會